

特別シンポジウム

「コミュニケーションの重要性 - 原子力の理解に向けて 女性の視点から -」の開催について

九州電力(株)川内1,2号機の再稼働に向けて一定の進捗が見られる中、世論調査では再稼働、更には原子力に厳しい反応が見られます。特に放射線による影響などを中心に女性の不安は大きく、原子力関係者や科学者による、より分かり易い、透明性を持ったコミュニケーションが必要との指摘もあります。

そこで当協会では、広く原子力に対する共感を得て、女性の理解、更には納得につなげるために必要なコミュニケーションのあり方について、様々な分野の女性専門家によるご講演、ディスカッションを通じて考察することと致しました。

1. 日 時：2014年11月18日(火)13:00～17:00

2. 場 所：東海大学 校友会館 阿蘇の間・朝日の間
東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル35階
Tel: 03-3581-1313

3. プログラム:

13:00-13:10 開会にあたって

13:10-13:55

基調講演 講師 黒川 伊保子氏 株式会社 感性リサーチ代表取締役社長
講演テーマ「感性コミュニケーション ～脳が創り出す男女のミゾ」

13:55-14:05 パネルディスカッション モデレーター挨拶
長谷川 聖治氏 読売新聞 科学部長

14:05-14:50 パネリストからのプレゼンテーション

越智 小枝氏 相馬中央病院内科診療科長

タイトル 「原発事故による健康被害とは？」

中村 多美子氏 弁護士

タイトル 「原子力問題におけるコミュニケーション課題
～法律家の視点から」

武田 美亜氏 青山学院女子短期大学現代教養学科人間社会専攻准教授

タイトル 「コミュニケーションという名のもとに

—これまでされてきたこと、これからすべきこと—」

14:50-15:10 休憩

15:10-16:10 パネルディスカッション (上述パネリストに加え、黒川氏参加)

16:10-16:40 質疑応答

16:40-16:55 モデレーターまとめ

16:55-17:00 閉会にあたって

4. 主催



一般社団法人 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1-2-8

虎ノ門琴平タワー9F

TEL 03 (6812) 7103

FAX 03 (6812) 7110

e-mail: tokusympo@jaif.or.jp

以上